



学年だより



令和8年4月24日（金）

<作文：2年生になって>

教室、クラスメイト、先生、いろいろ環境が変わった二年生。新学期の前日、不安でいっぱいだった。当日、クラス発表がされ教室に入ると、自分の名前を元気に呼んでくれた。

「一緒のクラスになれて、嬉しい。」その言葉で、新しい環境の変化に対する気持ちが不安から楽しみに変わった。

翌日。入学式。まだ二年生と呼ばれることに慣れなかった。しかし、新一年生の姿を見て、やっと二年生という実感が湧いてきた。新一年生の不安そうな顔を見て、一年前の自分の入学式を思い出す。あの時、優しく声をかけてくれた二、三年生。あの頃は助けられる側だった自分も、今では新一年生をサポートする側になった。一年生は先輩たちを見て覚える。先生にそう言われた時、責任をととても感じた。二年生になった今、一年生のお手本になるのは自分たちだと強く感じた。

C組 ○○ ○○

僕は二年生になって、どんな人になりたいか考えた。僕が二年生の目標にしたのは、一年生から目標にしている「応援される人」になること。昨年より高みを目指して自分が成長できるようにしたかったからだ。そのために、僕が常に大切にしている「一生懸命」「感謝」を忘れずに、何事にも全力でやる姿勢を続けることで、自分の姿で感謝を伝え続け、いつか一流の人になってお世話になった親や地域の方々にも恩返しができるようにしたい。

今回の作文で、一年一年目標をはっきりさせると、自分が成長できると改めて感じた。目標を達成することで新たに成長できるし、目標を達成できなくても成長は得られると思う。この先どんなことにも目標を決めて、自分が日々成長できるようにしていきたい。

E組 ○○ ○○

<先輩として見本となる姿を ✨>

1年生が入学したことにより、先輩としての自覚が少しずつ芽生えてきました。ただ、誰に見られても恥ずかしくないような学校生活を送ってほしいものです。特に授業後の休み時間や昼休みの時間、楽しそうに過ごしていますが、中には廊下で追いかけてこをしたり、寝そべったり、授業開始3分前でも教室に入らなかったりと、幼く恥ずかしい姿も見られます。一人一人が集団生活を意識して学校生活を送ること、気付いた人から声をかけることを、もう一度確認しましょう。

ただ、嬉しい出来事もありました。下校時に1年生が転んでしまったそうですが、近くにいた2年生が優しく介抱し、持っていた絆創膏まで貼ってくれたと、1年生の保護者の方から感謝の電話をいただきました。先生たちもその話を聞いて、とても誇らしかったです。これからも皆さんの良い姿が多く場面で見られることを期待しています。

<保護者の皆様へ>

本日の保護者会、平日のお忙しい時間ではありましたが、ご参加いただきありがとうございました。全体会・学級懇談会を通じて情報共有ができ、有意義な時間とすることができました。進級後、前向きな学校生活を通じて順調に成長している様子が見え、引き続き学校とご家庭で連携し、一人一人に寄り添って成長を見守っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<来週の予定>

| 日付 | 予定 | 連絡 |
|----------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 4月27日（月） | 朝：学年集会（武道場） 5時間授業 ①～⑤授業 （⑥カット） | 8：20廊下整列・出発 ①学活：議案書討議 部活動再登校16時 |
| 4月28日（火） | | ①・②・⑤・⑥・③・④ の授業順 |
| 4月29日（水） | 昭和の日 | |
| 4月30日（木） | | |
| 5月1日（金） | 開校記念日 避難訓練 5時間授業 | ①・②・③・⑤・⑥の 授業順 部活動再登校16時 |